2016年3月4日号
リスクフラッシュ 238号

Risk Flash No.238
(Vol.6 No.36)

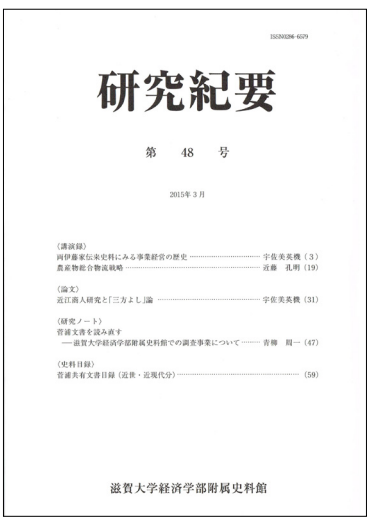
発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター
発行責任者：リスク研究センター長　久保英也
〒522-8522　滋賀県彦根市馬場 1-1-1　TEL:0749-27-1404
FAX:0749-27-1189 **e-mail: risk@biwako.shiga-u.ac.jp**
Web page : http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2

●研究者の視点：研究者の終着点・・・・・・・・Page 1
●リスク研究センター通信・・・・・・・・・・・Page 2

研究者の視点

研究者の終着点

企業経営学科教授　宇佐美英機（うさみひでき）


ISSN0286-6579

研究紀要

第　48　号

2015年3月

（講演録）
両伊藤家伝来史料にみる事業経営の歴史 …… 宇佐美英機（3）
農産物総合物流戦略 …… 近藤　孔明（19）

（論文）
近江商人研究と「三方よし」論 …… 宇佐美英機（31）

（研究ノート）
菅浦文書を読み直す
――滋賀大学経済学部附属史料館での調査事業について …… 青柳　周一（47）

（史料目録）
菅浦共有文書目録（近世・近現代分）…… （59）

滋賀大学経済学部附属史料館

平成２８年３月末をもって、私は滋賀大学経済学部専任教員としての奉職を終えることになる。リスクフラッシュには、「近江商人研究からリスク問題を考える」(No.4)、「伊藤忠兵衛家同族事業経営の研究（上・下）」(No.118,119)、「現代社会のリスクと歴史学」(No.144)を書かせていただいた。

私は「歴史学にとってリスク現象は織り込み済みのこと」(No.4)であり、「歴史学が万能の学問であるとは思ってもいないが、多くのリスクを回避するための知恵は、歴史のなかに埋もれていると信じてはいる」「歴史学は史資料の解釈によって、どのようにでも説明できる学問」(No.144)領域だと記してきた。このことは、いまだ考えを改めてはいない。

私がこのような発言をしたのは、自らが身を置く研究分野や社会の現状を観察しながら、腑に落ちないことがあったからである。特に近江商人経営論を講ずるなかで、「三方よし」論について巷間に流布する言説には長い間疑問を感じてきた。およそ、その史料的根拠の曖昧さや軽薄浅慮としか思えない引用の仕方には、近江商人を研究する者としては、軽い怒りすら覚えていた。それゆえ、講演や講義のなかで「三方よし」論が形成されてくる過程をアカデミックな立場から批判・検討を加えてきた。

しかし、一昨年の講義の際、一人の学生が「先生の今日のお話は、どこに書いてあるのですか」と質問され、改めて自分が口頭だけで説明してきた(ただし、講義では関係資料を配布してきているが)だけだと気付かされた。そこで、「三方よし」論の問題点を示し、アカデミックな検討を加える論文を書くのもまた、近江商人経営論を担当した教員の務めだと思い、「近江商人研究と「三方よし」論」(『滋賀大学経済学部附属史料館研究紀要』48号、2015年)をまとめた。この論稿は、批判の対象者である研究者から「宇佐美さんにしては韜晦（とうかい）だね。もっとはっきり書いたら良いのに」と私信をいただいた。これには「さすが！」と思った。確かに私は遠慮がちに遠回しに批判をしたので、批判するなら正面きってすることを指摘されたのである。

この論文は、私の滋賀大学への置土産というか感謝を込めて書いたが、改めてまだ自分が未熟な研究者であることを自覚した論文となった。研究者には終着点がないようである。

リスク研究センター通信

平成28年度入学式を次のとおり挙行いたしますので、お知らせします。
詳しくはこちら
http://www.shiga-u.ac.jp/2016/04/05/38262/　を
ご覧下さい。

「リスクフラッシュご利用上の注意事項」

本規約は、滋賀大学経済学部附属リスク研究センター（以下、リスク研究センター）が配信する週刊情報誌「リスクフラッシュ」を購読希望される方および購読登録を行った方に適用されるものとします。

【サービスの提供】
1. 本サービスのご利用は無料ですが、ご利用に際しての通信料等は登録者のご負担となります。
2. 登録、登録の変更、配信停止はご自身で行ってください。

【サービスの変更・中止・登録削除】
1. 本サービスは、リスク研究センターの都合により登録者への通知なしに内容の変更・中止、運用の変更や中止を行うことがあります。
2. 電子メールを配信した際、メールアドレスに誤りがある、メールボックスの容量が一杯になっている、登録アドレスが認識できない等の状況にあった場合は、リスク研究センターの判断により、登録者への通知なしに登録を削除できるものとします。

【個人情報等】
1. 滋賀大学では、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第59号）に基づき、「国立大学法人滋賀大学個人情報保護規則」を定め、滋賀大学が保有する個人情報の適正な取扱いを行うための措置を講じています。
2. 本サービスのアクセス情報などを統計的に処理して公表することがあります。

【免責事項】
1. 配信メールが回線上の問題（メールの遅延，消失）等によりお手元に届かなかった場合の再送はいたしません。
2. 登録者が当該の週刊情報誌で得た情報に基づいて被ったいかなる損害については、一切の責任を登録者が負うものとします。
3. リスク研究センターは、登録者が本注意事項に違反した場合、あるいはその恐れがあると判断した場合、登録者へ事前に通告・催告することなく、ただちに登録者の本サービスの利用を終了させることができるものとします。

【著作権】
1. 本週刊情報誌の全文を転送される場合は、許可は不要です。一部を転載・配信、或いは修正・改変して blog 等への掲載を希望される方は、事前に下記へお問い合わせください。

*尚、最新の本注意事項はリスク研究センターのホームページに掲載いたしますので、随時ご確認願います。
http://www.econ.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=10/2/3:12　）

＊当リスクフラッシュをご覧頂いて、関心のある論文等ございましたら、下記事務局までメールでお問い合わせください。

発行：滋賀大学経済学部附属リスク研究センター
編集委員：ロバート・アスピノール、大村啓喬、
菊池健太郎、金秉基、久保英也、
柴田淳郎、得田雅章、山田和代

滋賀大学経済学部附属リスク研究センター事務局
(Office Hours:**月ー金**　10:00-17:00)
〒522-8522　滋賀県彦根市馬場 1-1-1
TEL:0749-27-1404　FAX:0749-27-1189
e-mail:　risk@biwako.shiga-u.ac.jp